

相模原市 相模原圏域

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
1.これまでの取組みに関する第三者評価の実施	<p>広域及び密着ADと現状の共有を行ったうえで、協議の場において支援者やピアサポーターらと意見交換を行い、地域の課題について抽出を行った。</p> <p>協議の場における意見交換が活発になりつつあり、それぞれの立場で抱える困りごとや、地域のためにできることを共有することができた。</p>
2.第三者評価により明らかになった課題についての検討、ビジョンの明確化	<p>上記協議の場を受け、アドバイザーと更なる意見交換を行い、本市における成果と課題を共有した。</p> <p>庁内外の連携や地域移行の取組み等、成果を共有するとともに、他分野との更なる連携や新しい家族支援等、次年度につながる方向性を確認できた。</p>
3.障害・介護・医療分野との庁内連携の場の確保	<p>障害分野との意見交換、介護分野や訪問看護ステーションを対象とした事例検討等を実施した。</p> <p>初めての試みも多かったが、庁内のみならず地域の支援者も交え、地域包括ケアシステムのイメージを共有することができた。</p>

2. 支援事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・主に協議の場の運営において、広域ADの助言を受けつつ、密着ADとの意見交換を重ねたうえで実施した結果、参加者らが主体的に意見を述べ、地域包括ケアシステムの一員であることを実感できるような場になりつつある。 ・上記協議の場から派生するかたちで、訪問看護ステーションを対象とした事例検討会等、新たな取組みも始まった。また、障害や介護分野との意見交換や事例研究等、庁内連携も一定の成果を見せた。 ・地域移行支援の利用者数も一定数安定しており、支援者向け研修やピアサポーターの活用含め、認知度が増している。
--

3. 次年度に向けた課題等

<ul style="list-style-type: none"> ①構築支援事業の継続 ②新たな家族支援の取組み ③精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの運営主体についての検討

4. 課題の解決に向けた 令和2年度を取組方針

<ul style="list-style-type: none"> ①令和2年度も構築支援事業を継続して、引続き広域及び密着ADとの協働により、体制整備を進める。 ②地域活動支援センターの実施する「精神障害者を親に持つ子どもの支援」や「子育て中の精神障害者の支援」についての取組みに協力していく。 ③現在の密着ADをコアメンバーとした運営主体を考えていくこととし、組織的には精神保健審議会の下部組織として位置付けることを検討する。
